

令和２年度 京都御池中学校生徒・保護者アンケート

結果と考察

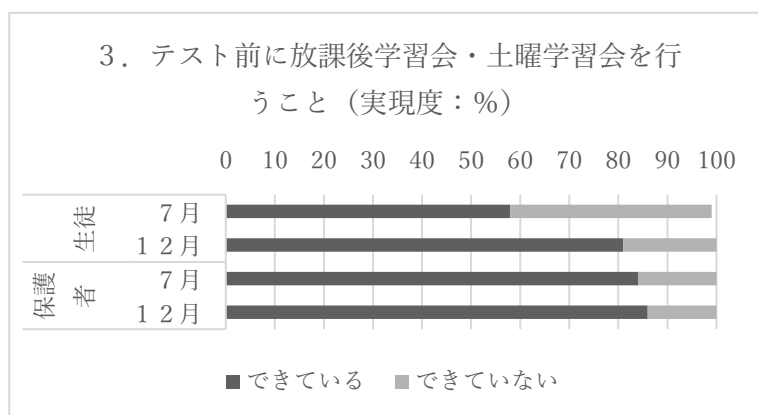
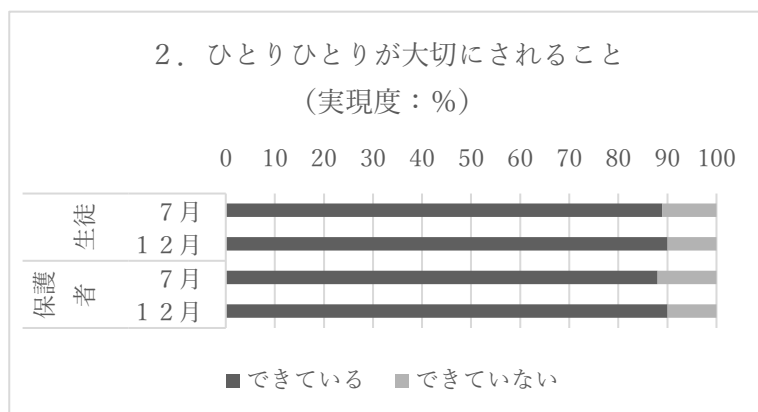
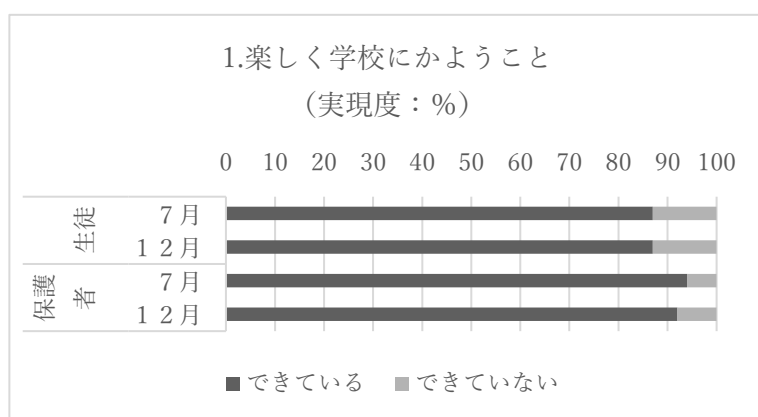
[アンケート調査実施時期]

生徒アンケート並びに保護者アンケートともに７月と１２月に実施。

[アンケート結果の検証について]

教職員研修（８月、令和３年２月）で検証を行い、さらに３月けやきプロジェクト理事会（学校運営協議会）で検証・確認を行った。

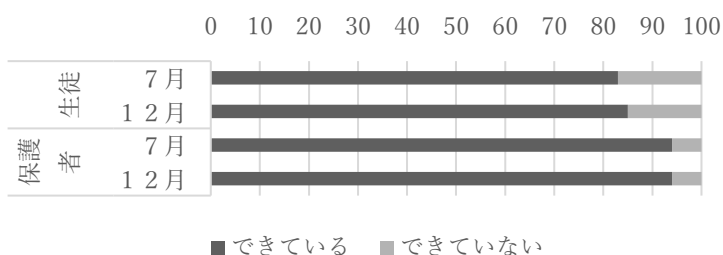
A：生徒・保護者アンケート結果の比較



今年度は緊急事態宣言による休校で４月から２ヶ月間の休校措置がとられ、その後も感染拡大防止のため数々の行事が中止となり、また日頃の学校生活においても多くの制限が課せられた一年であったことで、学校への魅力が薄れるのではないかと危惧していた。しかし、結果的には、生徒・保護者とも９割近くが「できている」と回答している。これは限られた条件の教育活動で、教職員が最大限の努力で取り組んだ環境づくりを生徒・保護者ともに「できている」と評価しているものと考えられる。次年度においても、さらに努力が伝わるような関わりを構築していきたい。

休校明け後、まず生徒の学習補償の場を作ることが第一義と考え、毎月放課後学習会・土曜学習会を実施した。その結果、生徒の「できている」とする割合が、７月実施よりも約２割強増加した。次年度においても生徒に参加意欲がもてる魅力ある学習の場の提供を教職員全体で考えていきたい。

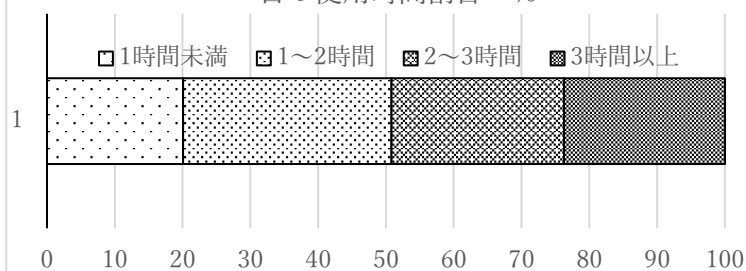
4. 先生に相談しやすい雰囲気があること
(実現度：%)



休校明け後、担任を軸とした各生徒への教育相談、また委員会・係活動・部活動等で教職員が生徒との相談の時間をできる限り確保し、関わってきた結果で生徒の8割超、保護者の9割超が「できている」と感じていると考えられる。

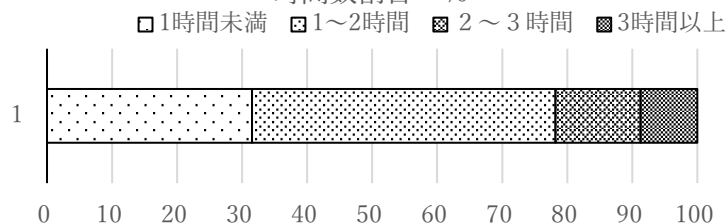
B 生徒アンケート結果より

5 携帯電話等の一日使用時間
一日の使用時間割合：%



6. 家庭学習の時間

時間数割合：%



保護者アンケート自由記述欄に携帯電話等の使用について悩みの声が多くみられ、実際左記グラフ5（携帯電話等の一日使用時間）のように1日2時間以上の生徒使用者が全体の5割に達する結果だった。グラフ6の家庭学習時間と携帯等使用時間から考察すると就寝時間減に繋がっていくものと考えられる。深夜遅くまで就寝しないことで睡眠不足となり結局学校での学習に集中できなくなり、また起床時間が遅くなり遅刻することに繋がります。今一度生徒と保護者・学校が健全な使用について話し合う必要があると考えます。

C：まとめ

生徒アンケート・保護者アンケートの結果全体として、「できている」という回答項目が多く、おおむね「信頼される学校づくり」が進められていると考えられます。ただ、保護者の自由記述欄において学校への厳しいご意見をいただくこともありました。学校ではこのようなご意見を糧にし、令和3年4月からの新学習指導要領のスタートをひかえた今、これまでの取組をさらに改善・修正し、「信頼される学校づくり」を推し進めていくことが肝要と考えております。

また、今年度は地域との関係づくりを目指す「けやきプロジェクト」の取組が、ほとんど中止される事態となりました。次年度においては感染拡大防止を考慮した取組を現在検討しております。今後も保護者・地域の皆様方からのご意見をいただき、学校・家庭・地域が丸となって京都御池中学校の教育活動の推進をめざしたいと考えております。ご協力のほどよろしくお願いいたします。